

第 1904 回例会報告

◇会長告知◇会長 小口 直久



皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。本日の例会は、社会奉仕委員会担当のディスカッション例会です。これからの社会奉仕活動の一助となるようなディス

スカッションができれば良いかと思います。有意義なディスカッションにしましょう。

ロータリーでは毎月テーマが定められておりますが、3月は「水と衛生月間」です。私たちは普段、蛇口をひねれば安全な水が出てきて、清潔なトイレを当たり前のように使っています。しかし世界に目を向けると、安全な水や衛生的なトイレを利用できない人々がまだ多く存在しているのが現状です。私たちの住むこの諏訪の地には、豊かな自然に恵まれた諏訪湖があります。諏訪湖は古くから地域の暮らしや文化を支えてきた大切な存在であり、同時にその環境を守り続けていくことも、私たち地域に生きる者の大切な使命です。諏訪湖ロータリークラブでも、湖岸清掃や里山整備など、水と自然を守る取り組みを続けてまいりました。一方で、私たちが交流を続けているフィリピン・セブでは、日本とは水や衛生環境の事情が大きく異なります。地域によっては水道設備が十分ではなく、水の確保が容易ではない家庭もあります。また、学校や公の施設などでもトイレの設備が十分とは言えないところがあり、衛生面の課題が残っている地域もあります。

先日、現地の学校を訪問した際、そうした環境の中でも元気いっぱい学ぶ子どもたちの姿を見て、改めて感じたことがあります。それは、私たち日本の生活環境がいかにも恵まれているかということです。日本では、清潔で快適なトイレがどこにでもあり、安全な水を安心して使うことができます。普段はあまり意識することはありませんが、これは世界的に見ても非常に恵まれた環境だと言えるのではないのでしょうか。

水と衛生の環境が整うことは、人々の健康を守るだけでなく、子どもたちが安心して学校に通い、未来に夢を持つことにもつながります。ロータリーでは世界各地で井戸の建設や浄水設備の整備、衛生教育などの活動が行われ、多くの人々の生活を支えています。

令和 8 年 3 月 12 日(木)晴

私たちが諏訪湖の環境を守る活動を行うこと、そしてセブの子どもたちとの交流を続けること、その根底には「人のために何ができるか」というロータリーの奉仕の心があります。水と衛生月間を機会に、普段当たり前に使っている水やトイレのありがたさに改めて感謝するとともに、地域や世界のために私たちができることを考える月にしていければと思います。本日も有意義な例会となりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

◇幹事報告◇ 幹事 成山秀幸

【連絡事項】

3月15日に行われるガールスカウトフライアップ式に、小口会長が出席します。

そして、来週の例会は、すてっぷカサイの河西優子さんによるスマホの使い方講座がございますが、加えて、ガールスカウト長野県第15団の小日向団長にお越しいただき、活動報告をしていただいた後、助成金をお渡しいたします。ぜひ、奮って例会にご出席ください。



【出席報告とニコボックス】

| 出席報告 | | ニコニコボックス | |
|---------|-----|----------|----------|
| | | 利用人数 | 今回の金額 |
| 会員数 | 33人 | 2人 | 2000円 |
| 出席対象 | 30人 | 前回累計 | 505,000円 |
| 出席者数 | 18人 | 累計 | 507,000円 |
| 出席率 | 60% | 目標額 | 70万円 |
| 前回修正出席率 | % | 達成率 | 72.5% |



本日は、社会奉仕委員会担当例会の、ディスカッション例会です。次に繋げる社会奉仕活動をテーマに、有意

義なディスカッションにしましょう。よろしくお願ひします。
 五味委員長、楽しみにしています。

小口直久
 宮坂英貴

ンも換えられないのです。
 湖岸清掃は、湖浄連が 45 周年になりますが、45 年前から、毎月 1 回行なっています。また、下諏訪町の学校では、水辺の時間という授業で、環境問題に取り組んでいます。

◇結婚記念祝◇



萩田均会員、北原厚子会員、おめでとうございます

◇例会内容◇

社会奉仕委員会担当例会
 「前回例会の考察と
 今後の社会奉仕活動の方向性」

～テーマ～

- ①諏訪湖博物館
- ②湖岸利用
- ③高木運動公園



ディスカッションの前に、萩田均会員に、現状の共有を話していただきました。

諏訪湖博物館は、およそ 40 年前に、下諏訪町出身の建築家、伊藤豊雄先生の設計で建てられました。船を裏返したような形になっています。実は、博物館の中の展示物は、40 年前からほとんど変わっていません。建物の 3 分の 1 くらいは、赤彦記念館となっています。街の組織、博物館運営審議会が年に何回か開催され、博物館をどう利用するか、審議されています。しかし、建物はボロボロの状態、雨漏りがしていて、20 年前からエアコンが壊れています。町に何とかしないか、と話しましたが、町では手出しできないので、伊藤先生に進言してくれと言われ、エアコンの仕事をしていることもあり、東京まで伊藤先生に会いに行きましたが、全く手をつけてはいけなと言われてしまいました。そのため、簡単にエアコ



活発なディスカッションの内容は、後日、会員の皆様に配布させていただきます。